

# 新東名高速道路SAへリポートを活用した航空進出訓練を実施

## 新東名高速道路SAへリポートを活用した航空進出訓練の概要

- 主催等 主催：静岡県 主な参加機関：自衛隊・警察・消防・海上保安庁・災害派遣医療チーム(DMAT)等
- 日時場所 平成24年3月13日(火)09:00～13:00 新東名高速道路(平成24年4月開通)及び静岡県の各地域
- 訓練想定 災害時に新東名高速道路のSA・PAを防災拠点として活用するための訓練

## 海上保安庁訓練の概要

- DMAT空輸訓練：海保ヘリ「MH805」により静岡SA及び駿河湾沼津SAへリポートから沼津港沖合いに配置した巡視船「いず」へDMATを空輸
- 船内応急救護所運営訓練：DMATと巡視船「いず」「おきつ」潜水士が連携し、巡視船「いず」船内に応急救護所を開設・運営(負傷者18名を想定)
- 他機関航空機離着船訓練：静岡県警察本部航空隊ヘリ「ふじ2号」が巡視船「いず」へ離着船(物資空輸)
- 重傷者広域医療搬送訓練：巡視船「いず」船内応急救護所でトリアージした重傷者2名をDMAT同乗の海保「MH805」で駿河湾沼津SA及び静岡SAへ搬送

東部DMAT 順天堂大学医学部附属静岡病院

中部DMAT 静岡済生会総合病院

新東名駿河湾沼津SA(下)  
N35-09-08 E138-48-31

3mile・5.5km

26mile・48km

巡視艇「ふじかぜ」「みほかぜ」  
訓練警戒・支援艇

巡視船「いず」  
応急救護所

新東名静岡SA(上)  
N34-59-02 E138-17-35

メインテーマ ～ 陸・海・空 の連携 ～

# 参加巡視船艇及び航空機

高機能・高速中型巡視船「おきつ」  
救難指定巡視船(潜水土乗船)



清水海上保安部所属 ※乗組員の参加のみ

MH805 (アエロスパシアル式AS332L1型)



羽田航空基地所属

ふじ2号 (AS365N3)



静岡県警察本部航空隊所属

20m型巡視艇「ふじかぜ」



清水海上保安部所属

20m型巡視艇「みほかぜ」



清水海上保安部所属



## 巡視船「いず」(平成9年就役 総トン数3500トン 全長110m 速力20ノット以上 横浜海上保安部所属)

平成7年に発生した阪神・淡路大震災を教訓に建造された海上保安庁初の「災害対応型」巡視船。

船橋甲板に広いOIC区画(Operation Information Center)を備え、大規模地震などにより陸上施設が壊滅的な被害を受けた際、現地対策本部機能を船上に移設できるほか、約160名の収容能力、簡易手術も可能な医務室、大容量の造水装置、他機関のヘリコプターも離着船可能な飛行甲板など、災害時のあらゆる状況を想定した各種装備を有する。

昨年3月11日に発生した東日本大震災では発生直後から東北地方へ派遣され、現場の最前線で活動。東海地震発生時には清水船隊の指揮船として駿河湾に派遣される。

また、潜水土、通称「海猿」が乗船し、第三管区の救難強化巡視船にも指定され、まさに海上保安庁救難防災業務のフラッグシップである。

DMAT空輸訓練



各SAからDMAT到着

船内応急所運営訓練



負傷者トリアージ実施中

船内応急所運営訓練



負傷者搬送中

船内応急所運営訓練



最重傷者救護中のDMAT



DMAT空輸中のMH805

巡視船いずへ收容された負傷者のトリアージ・救護等実施のためDMATを派遣要請！！

他機関航空機離着船訓練



静岡県警ヘリにより緊急支援物資が届く

重傷者広域医療搬送訓練



最重傷者をヘリへ搬送中

重傷者広域医療搬送訓練



一刻も早く！！安全に！！

重傷者広域医療搬送訓練



各SAへ向け出発！！